

防衛事業と地域共生特別委員会 記録簿

会議日程	令和8年3月13日 14:27~14:47			
場所	議員控室			
出席委員	柳谷（委員長）	泰山（副委員長）	池田（委員）	元井（委員）
	永井（委員）	中村（委員）	伊東（委員）	里山（委員）
	栄（委員）			
欠席委員	向野（議長）			
説明のため出席した者の職氏名				
付議事件	・委員会報告書について			
出席職員	義永（局長）	喜屋武（次長）		宮原（書記）
担当職員名	義永（局長）	委員長署名	柳谷 昌臣	
会 議 の 概 要				
柳谷委員長	1年間にわたる活動（佐賀県や下関市への視察、補助金制度の調査、海上輸送隊の配備計画など）をまとめた報告書案を朗読しました。			
泰山副委員長	報告書内の「令和8年1月に防衛省主催の住民説明会が実施された」という記述に対し、自身の一般質問の際には「町主催」とされていたため、事実関係を訂正すべきだと指摘しました。			
柳谷委員長	指摘を受け、当該箇所を訂正すること、および「防災専門監等からの聞き取り内容の進化」という表現が委員会の理解を深めたという意味であることを確認した。			
柳谷委員長	今後の調査についての意見を確認した。			
泰山副委員長	令和8年度の国の予算の動きや、海上輸送群の進捗を確認するため、3月からでも早期に委員会を再開すべきだと主張しました。また、8月頃に呉や防衛局への現地調査を実施できるよう、早めに準備を進めるべきとの考えを示しました。			
中村委員	時期を先に決めるのではなく、まずは「何を調査するのか」という調査項目を具体的に集約・整理し、委員間で共通認識を持つことが先決であると意見を述べました。			
池田委員	緊迫する国際情勢や国の方針を見極める必要があると指摘しました。焦って立ち上げるのではなく、国の動きが見えてくる6月議会頃の設置が良いのではないかと提案しました。			
柳谷委員長	各委員の意見をまとめ、予算の成立や国際情勢を注視しつつ、それまでの間に各自で調査事項を整理することを確認しました。その上で、6月議会あたりで新たに特別委員会を設置する方向で進めることを決定し、本委員会を締めくくりました。			